5教科・過去問点数管理表

生徒用｜得点推移から次の学習を決める｜人間確認前の試験版

対象	東京都立高校の共通問題を使用する学校を受検する中学3年生
対象教科	5教科
対象単元	学習管理
対象点数	全点数帯
難易度	基礎～標準
目標時間	20分
公式確認日	2026-08-05

重要： この表は共通問題の素点を記録するためのものです。令和9年度案内で示される標準的な5教科は100点×5教科=500点ですが、学校・募集区分・傾斜配点等により扱いが異なる場合があります。共通問題と自校作成問題の得点を同じ尺度と決めつけて比較せず、志望校の最新の実施方法を人間が確認してください。令和8年度理科は公式ページの差し替え後の問題・正答表を使ってください。

教材の目的

公式過去問を解いた結果を5教科同じ形式で記録し、合計点だけでなく教科別の変化、誤答の根拠、次に行う学習まで一続きで整理する。

公式情報から確認できること

東京都教育委員会の令和9年度案内では、全日制の第一次募集における標準的な例として国語・数学・英語・社会・理科の5教科を扱い、学力検査得点を100点×5教科=500点として示している。令和8年度の公式ページには5教科それぞれの問題、正答表、採点のポイントが掲載され、同年度の調査では教科別の平均点と得点分布も公表されている。本教材は公式過去問の本文や表を転載せず、自分の得点推移を記録する独自様式である。

使い方

1. 同じ条件で比較できるよう、年度、実施日、時間制限、休憩の取り方をそろえて解く。
2. 東京都教育委員会の正答表と採点のポイントを確認して、国語・数学・英語・社会・理科の素点を記録する。
3. 国語＋数学＋英語＋社会＋理科を計算し、5教科計が0～500点に収まることを確認する。
4. 初回と最新の点数差を教科ごとに計算し、誤答の種類を根拠として弱点を一つ選ぶ。
5. 次回までに行う学習を、教材名・単元・問題数・期限のいずれかを含む具体的な行動で書く。

都立入試ナビ

練習問題

問題 1

東京都教育委員会が公開する共通問題の過去問を3回分以上解き、各回の国語・数学・英語・社会・理科の素点と5教科計を記録しなさい。次に、初回と最新の教科別の差、誤答の根拠、次回までに行う学習を表にまとめなさい。

過去問得点記録

回	実施日	過去問年度	国語	数学	英語	社会	理科	5教科計
1	＿＿/＿/＿	令和＿年度						
2	＿＿/＿/＿	令和＿年度						
3	＿＿/＿/＿	令和＿年度						
4	＿＿/＿/＿	令和＿年度						
5	＿＿/＿/＿	令和＿年度						
6	＿＿/＿/＿	令和＿年度						

合計確認：国語＋数学＋英語＋社会＋理科＝5教科計（各教科0〜100点、合計0〜500点）

得点推移と弱点分析

教科	初回	最新	差	根拠となる誤答・傾向	次に行う学習
国語					
数学					
英語					
社会					
理科					

最優先で直す教科・単元：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

次回までの具体的な行動：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

分析の問い

・最新回で最も低かった教科だけでなく、初回から伸びていない教科はどれか。

・失点は知識不足、条件の読み落とし、計算、時間不足、記述のどれに多いか。

・次の1週間で直す範囲を一つに絞ると、どの単元・問題になるか。

・同じ年度を解き直す日と、別年度で確かめる日をいつにするか。

記録後の自己確認

☐ 5教科すべての得点を空欄なく記録した。

都立入試ナビ

☐ 5教科計を電卓任せにせず再計算した。

☐ 訂正情報と採点のポイントを確認した。

☐ 点数だけでなく、誤答の根拠を残した。

☐ 次に行う学習を一つ具体的に決めた。

公式情報確認日：2026-08-05 自分の確認日：____年__月__日

都立入試ナビ

都立入試ナビ

都立入試ナビ